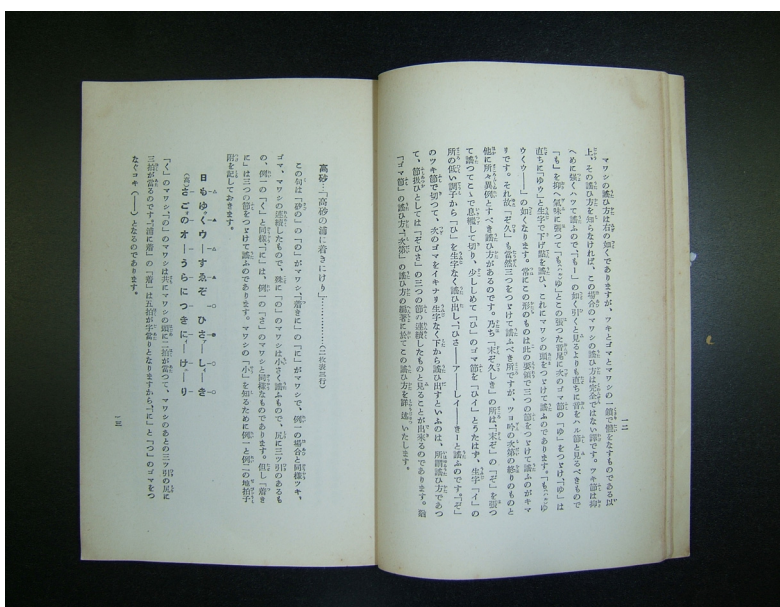
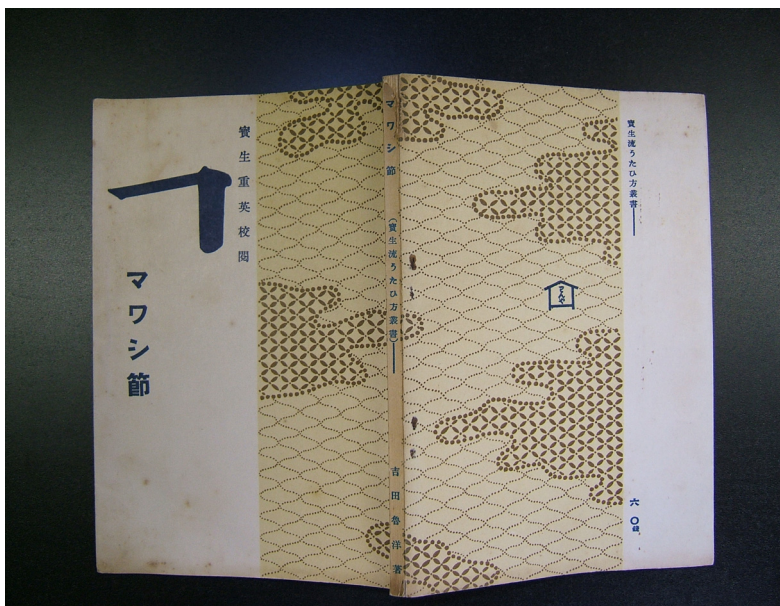


吉田魯洋 『マワシ節 宝生流うたひ方叢書』

マワシは地拍子と大いに関係する節であるが、本書では八割はほとんど使われない。写真下は、マワシの「小」の大きさを理解させるために、高砂の句が割り付けられているが、あくまでも参考にすぎないという、扱いである。拍子の説明が少ないのは、節を正確に歌っていれば、おのずと拍子に合うという考え方をそのまま反映させているからだと思われることができるだろう。



題名 内題…マワシ節 宝生流うたひ方叢書

標題紙…宝生流うたひ方叢書 マワシ節

奥附…「宝生流うたひ方叢書」マワシ節

その他…マワシ節 宝生流うたひ方叢書

(目次・背、マワシ節(表紙))

著者 奥附…吉田只雄(魯洋)

その他の場所…吉田魯洋(序・標題紙・背)

出版 版次…再版

出版地…東京

出版社…わんや書店

出版年…昭和8(1933)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…九一頁

寸法…19×13 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 初版は昭和七(一九三二)年。宝生重英

校閲。